

6. しっぽの森ボランティアサポーター活動紹介

令和3年度から始まった「しっぽの森ボランティアサポーター」の活動を紹介します。今回は、しっぽの森ボランティアサポーターとして活動しているD様にお話を伺いました。

しっぽの森ボランティアサポーターとは？

すでに、動物についての専門知識や技術を持っている動物愛護推進員、譲渡ボランティアを対象に、しっぽの森の犬・猫の馴化や動物愛護管理啓発事業等に協力していただくことを目的とした登録サポーター制度です。

しっぽの森ボランティアサポーターに登録しようと思ったきっかけを教えてください。

長い間、動物愛護推進員として行政のお手伝いや、団体に所属して動物愛護啓発活動をしてきた経験を生かして、しっぽの森で出来る事があるかもしれないと思い、登録しました。

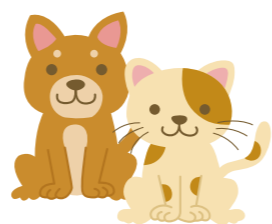


どのような活動をしていますか？

しっぽの森にいる犬の人馴れの練習やシャンプー、犬舎の清掃、イベントのお手伝いなどを行っています。

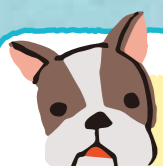
しっぽの森の犬や猫と接する際に意識しているところはありますか？

もともと野良犬や野良猫の子が多く、人を怖がる傾向があります。そのため、無理強いせずに犬や猫の気持ちを大切に接するようにしています。



これまでの活動で印象的な出来事がありますか？

犬の飼い方教室の時、飼っている犬の病気の事で悩んでいる飼い主さんがいました。私も同じような経験があったので、個別に色々とお話させていただきました。その飼い主さんに「同じような思いをした人と話ができて、今日は来て良かった。」と、言っていただき、私と話をした事で、飼い主さんの気持ちが少しでも軽くなったのなら良かった…と、思ったことです。



しっぽの森Instagramのご紹介



しっぽの森では、Instagramで譲渡動物やイベントなどの情報を発信しています。しっぽの森でトレーニングを頑張る犬や、ふれあいルームでくつろぐ猫、イベント開催の様子など、様々な写真と共に、しっぽの森の様子をお伝えしています。

是非一度、Instagram「しっぽの森_さぬき動物愛護センター」をご覧ください。 [@sanuki_shipponomori](https://www.instagram.com/sanuki_shipponomori)



是非一度、Instagram「しっぽの森_さぬき動物愛護センター」をご覧ください。



さぬき動物愛護センター
キャラクター: アイゴン



1. 令和3年度の振り返り
2. マイクロチップの装着等に関する制度について
3. 犬の同窓会・猫の飼い主交流会を開催
4. 新しい家族を迎えて①～トライアル制度を利用して～
5. 新しい家族を迎えて②～複数頭・成猫を迎え入れるということ～
6. しっぽの森ボランティアサポーター活動紹介

1. 令和3年度の振り返り

令和3年度は、新年度早々から新型コロナウイルス感染症が拡大し、企画していたイベントの規模を縮小したり、やむを得ず中止したりと、計画どおりにならない状況が続いた1年でした。しかし、そのような状況下であっても、多くの方々のご利用と譲渡ボランティアなど、しっぽの森の関係者のご協力のおかげで、譲渡率は昨年度以上となりました。



譲渡数、譲渡率の一覧	犬			猫		
	収容数	譲渡数	譲渡率	収容数	譲渡数	譲渡率
令和3年度	1,420	1,004	70.7%	697	439	62.9%
令和2年度	1,829	1,170	63.9%	834	498	59.7%

※令和3年度の数値は速報値

今年度も新型コロナウイルス感染症の予防対策をしっかり行いながら、人と動物が共生する社会を実現するために、動物愛護管理に関する普及啓発や犬猫の適正な譲渡推進に取り組みます。多くの犬や猫が人と幸せに暮らせるように、事業を推進したいと考えておりますので、引き続き、ご支援・ご協力をよろしくお願いいたします。



2. マイクロチップの装着等に関する制度について

令和4年6月1日からブリーダーやペットショップで販売される犬や猫のマイクロチップの装着が義務化されました。ペットショップ等でマイクロチップが装着された犬猫を購入したとき、飼い主さんの情報に変更する必要があるほか、マイクロチップを装着した犬猫を譲り受けたときや飼い主さんが動物病院でマイクロチップを装着した場合は、データベースに登録する必要があります。

マイクロチップとは

直径1.4mm、長さ8.2mm程度の小さな電子標識器具です。チップには、15桁の数字が記録されており、専用のリーダーで読み取ることができます



マイクロチップの装着

動物病院などで獣医師が専用の注入器を使って皮下に埋め込みます。一度埋め込むと、首輪や名札のように外れ落ちる心配が少なく、半永久的に読み取ることができます。



マイクロチップの登録

パソコンやスマートフォンを使って、オンラインで登録の申請をすることができます。なお、登録申請の際には、獣医師が発行したマイクロチップ装着証明書を添付する必要があります。

環境省 犬と猫のマイクロチップ情報登録サイトはこちら <https://reg.mc.env.go.jp/>



3. 犬の同窓会、猫の飼い主交流会を開催！

犬の同窓会（令和4年4月30日、5月3日）

令和3年10月から令和4年2月の間にセンターを卒業したわんちゃんと飼い主さんに来所いただき、犬の同窓会を開催しました。飼い主さん達には、わんちゃんの良いところや困っていることを共有してもらい、成長したわんちゃん達には、久しぶりのしっぽの森のドックランで全力疾走を楽しんでもらいました。当日は、ペット災害危機管理士講師の資格を持つ武田さんにペットの災害対策についてもお話してもらいました。ご参加いただいた方々、ありがとうございました！



猫の飼い主交流会（令和4年5月5日）

令和3年8月から令和4年2月にセンターを卒業したねこちゃんの飼い主さんに来所いただき、飼い主交流会を開催しました。我が猫紹介パネルを作成し、成長したねこちゃんのアピールポイントや、家族の一員に迎え入れて良かったこと・困ったことを、お互い発表してもらいました。ご参加いただいた方々、ありがとうございました！



4. 新しい家族を迎えて① ~トライアル制度を利用して~

「飼いたい犬・猫」と「飼える犬・猫」は異なります。だからこそ、しっぽの森からの譲渡を希望される方々には、じっくりと考えた上で、新しい家族を迎え入れていただきたいと思っています。今回は、昨年9月からしっぽの森でスタートしたトライアル制度（※1）を利用して、新しい家族（茶トラ3兄弟）を迎え入れたS様に、お話をお聞きました。

※1
しっぽの森で、
令和3年9月から
開始した制度。

成猫・成犬を迎え入れようと考えている方を対象に、正式譲渡の前に、お試し期間をもうけました。その期間に、先住犬や先住猫との相性や環境になじむか確認していただき、家族の一員として迎え入れられるかどうかを考えていただけます。

◎しっぽの森から猫の譲渡を受けようと思ったきっかけは？

先住猫を亡くしてしばらく経ち、やはり猫のいる生活が忘れられず、良いご縁があれば…と、しっぽの森HPをチェックしていました。しっぽの森に慣れた頃に、また新しいおうちへ…きっと不安だろうな、さびしいだろうなあと思い、なるべく兄弟や仲良し同士2~3匹で…と、漠然と考えていました。

しっぽの森のスタッフさんから「3匹とても仲良しですがちょっと怖がりです。」と紹介された茶トラ3兄弟（当時8カ月齢）、我が家なら離ればなれにならずに暮らせる!と思いました。

◎「成猫を3匹一緒に」ということで、トライアル制度（※1）を利用していただきました。トライアル期間中には、どのようなことを確認していましたか？

「環境の変化によって、3匹の猫達の関係性が悪くならないか、怖がりな3匹が新しい環境を受け入れ、リラックスして永く暮らせそうか」を確認していました。「飼う」と覚悟をしながら取って面倒なトライアル期間をお願いしたのは、もしも何か難しいことがあった場合、猫たちに余計な苦勞をさせたくなかったからです。結果的には、あっという間に慣れてくれたのですが、この制度があったからこそ「絶対大丈夫!」と確信を持って受け入れることができました。



5. 新しい家族を迎えて② ~複数頭・成猫を迎え入れるということ~

小さな子猫の時から一緒に過ごしたい!ということで、多くの方が、子猫を希望されますが、成猫を迎え入れることや複数頭飼育することで、関係性が上手くいく場合もあります。引き続き、成猫3匹を受け入れたS様に、お話を伺いたいと思います。

◎多くの方が子猫を希望される中、成猫を迎え入れることに迷いはなかったですか？

もちろん子猫でも良かったのですが、これまで飼っていた子も生後半年以上で我が家に来ていて、体調の急変が少ない、といった成猫ならではの良さを感じていました。うちに来た時、生後約9ヶ月だった茶トラ3兄弟は、ほぼ大人の大きさか?と思いましたが、その後、3匹とも1.1~1.4kg増えましたし、行動も落ち着き払った成猫…という感じではなく、色々な物に興味を持って手を出す大きな子猫…という感じです(笑)。今は、「成猫の良さ」と子猫を育てる楽しみ”両方を味わっています。



◎現在の3匹とご家族の様子をお聞かせください。



3匹とも、よく食べ、よく遊び、のびのびと自由に暮らしています。子供達も3匹を迎えたことが嬉しいようで、猫に関する本を借りたりしてお世話の勉強をしています。爪切りをどうしようかと思っていた所、本で学んだ娘が切ってくれ、助かっています。3匹個性はありますが、皆、人間と関わるのが大好きで、それぞれ抱っこ、ひざ乗り、スリスリなど得意技でおねだりしてきます。3匹の関係性も変わらず、一緒にいたり、それぞれ気ままにしていたりですが、3匹一緒に引き取ったからこそリラックスして過ごすことができるのかも…と思っています。家族みんな、「3匹平等に!!」に気を付けながら可愛がっています(笑)